

■決算概要

平成30年度の一般会計の決算額は、歳入が252億7,284万円、歳出が239億733万円で、翌年度へ繰り越すべき財源7億9,087万円を差し引いた実質収支は5億7,464万円の黒字となりました。








歳入は、前年度に比べ3億3,086万円の増となりました。これは、給食センター改築などの大型事業に基金を活用したためで、財政調整基金からの繰入は6億9,400万円の増額となりました。また、ふるさと応援寄附金が4,834万円の増額となり、年度額が1億円を超えました。一方で、大型事業の

実施が一段落したため地方債が4億1,530万円の減額となりました。

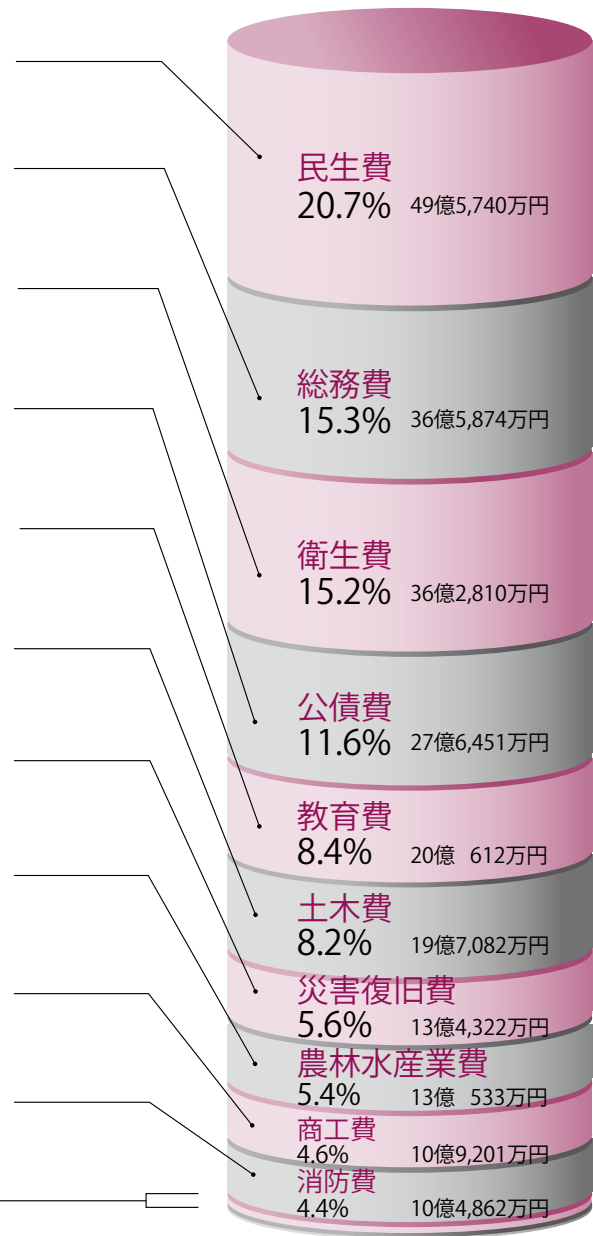
歳出は、前年度に比べ2億9,293万円の減となりました。平成29年度に南部学校給食センター改築事業が完了し、平成30年度は大型建設事業に伴う費用が減少するなどしましたが、平成30年7月豪雨災害や台風災害の被災により、災害復旧費に13億4,322万円と多額の費用がかかったことなどから、歳出合計では前年度から微減となりました。

【財務課】

目的別に見た歳出の状況

-  保育施設の運営や、高齢者や障がい者、生活困窮者などの福祉施策に使われます。
 -  市役所や市民会館などの運営、税金の徴収や住民票の発行、広報の発行などに使われます。
 -  市民の健康増進やごみの処理などに使われます。
 -  大きな施設や道路をつくる時に、国や銀行などから借り入れたお金の返済に使われます。
 -  学校教育や社会教育の実施、小・中学校や体育館、公民館、図書館の管理運営などに使われます。
 -  道路や橋の整備、公園や市営住宅の管理などに使われます。
 -  災害によって被害を受けた土木施設や農林施設などの原形復旧に要する経費です。
 -  農業や林業、水産業を振興する事業などに使われます。
 -  観光の振興や観光施設の管理、商店街や中小企業を応援する事業などに使われます。
 -  消防車や救急車の管理や消防署の整備、消防団の運営などに使われます。
- | | | |
|-----|------|-----------|
| 議会費 | 0.5% | 1億1,869万円 |
| 労働費 | 0.1% | 1,378万円 |

歳出合計 239億733万円

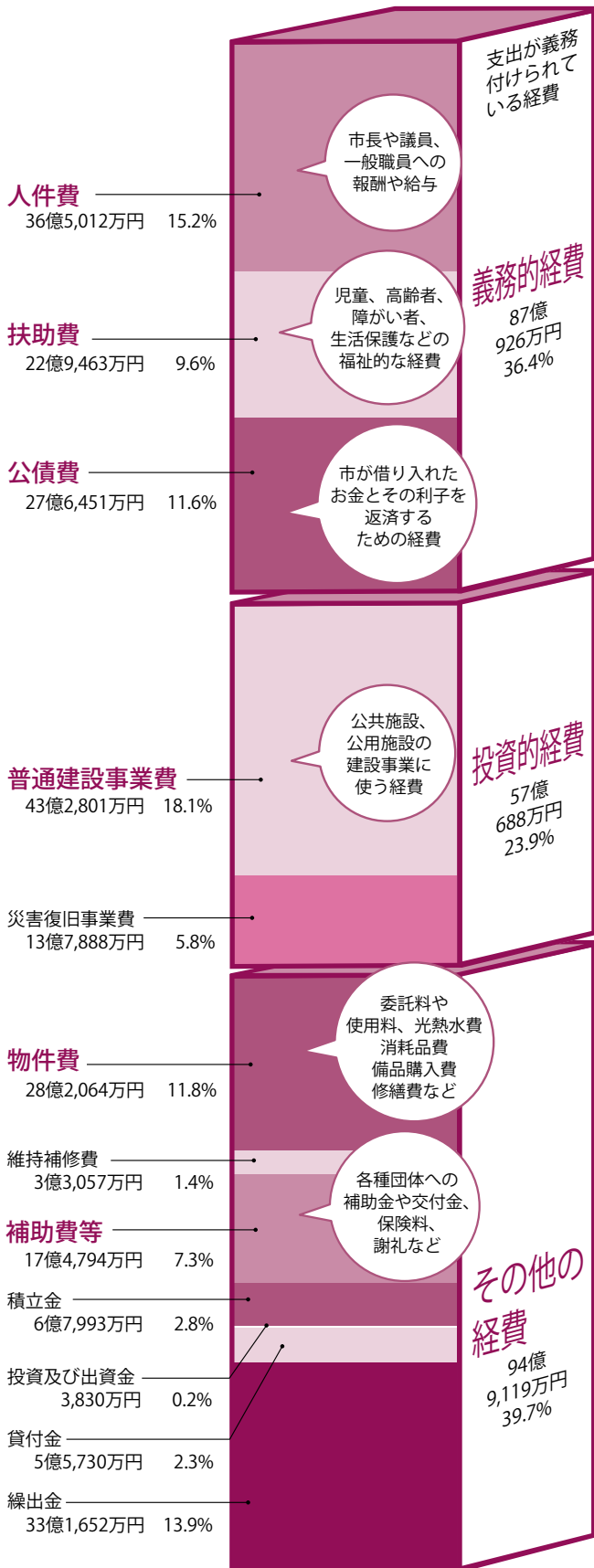


一般会計 歳入歳出の状況

※額は千の位を四捨五入し万単位としていますので、合計と一致しない場合があります。

● 歳出 (1年間の全ての支出)

歳出合計 239億733万円



● 歳入 (1年間の全ての収入)

歳入合計 252億7,284万円

